

大田区区政功労表彰 受賞おめでとうございます

去る 3 月 15 日、大田区民プラザで区政に功労のあった方々に対する表彰が行われました。受賞された当地区の方々を、分野ごとにご紹介します。

- ◆自治会・町会（会長・副会長）
岡田 勇 米山 政美 澤井 涼子
- ◆民生委員
大塚 由紀子 長谷部 一江
- ◆交通安全協議会委員
平野 重太郎 (敬称略)

♪♪ 町の風 ♪♪

新井宿特別出張所に 「だれでもトイレ」ができました

大田区では、「だれでも快適に活動できるまち」の実現を目指し、バリアフリー化を進めています。この度、1階事務室のトイレを改修し、車椅子でも利用できるトイレ、「だれでもトイレ」を設置しました。工事中は、皆様にご不便をおかけしましたが、どうぞ、ご利用ください。
また、玄関手前のスロープ入口にインターホンを設置しましたので、スロープがきつく、手を貸して欲しい場合はご活用ください。

35号でも紹介した 大田区シルバー人材センターが会員募集

- ◆こんな仕事を受けています。
施設管理・屋内外軽作業・事務補助
子育て支援など
- ◆会員になるには
 - ・60歳以上の健康な方
 - ・働く意欲のある方
 - ・大田区にお住まいの方
- ◆入会についてのお問合せは
(社) 大田区シルバー人材センター
東京都大田区仲六郷 1-6-9-125
☎(03) 3739-6666



消防署からのお願い

昨年の大森消防署管内の火災件数は130件、焼損床面積は683㎡でしたが、今年は既に焼損床面積で昨年を上回っています。最近の出火原因をみると、電気設備器具等からの火災が増加の傾向にあります。その使い方に気を付けましょう

- コードを痛んだまま使用しない
- コードの上に重いものをのせない
- プラグにほこりをためない
- タコ足配線をしなない
- コードをたばねない
- アイロンの消し忘れに注意をする



〈大森消防署市野倉出張所〉

また昨年、東京消防庁管内で火災により亡くなられた方は137人、その内65歳以上の高齢者は69人となっています。

火災による高齢者の死者を低減するため、消防署では次のように呼びかけています。

- 寝たばこは絶対しない、させない
- 暖房器具からの出火防止
- 一人暮らし高齢者を近隣で見守る体制づくり
- 高齢者はできるだけ一人にしない
- 住宅用火災警報器の設置

編集後記

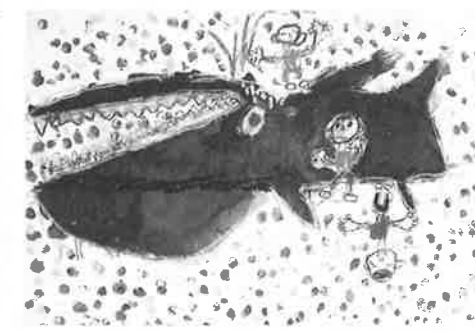
今年の冬はことのほか厳しい寒さでした。皆様、さぞ春が待ち遠しかったことでしょう。これも地球環境の変化のひとつと言われているのですが、今後どんなことが起こるのか、不安を感じます。
前号で災害時の備品などを特集しましたが、健康面でも、いざという時は、やはり地域の医療が頼りです。そこで今号では、地域医療の充実に取り組んでいる「大森

医師会」の活躍をご紹介しました。様々な医療活動の中で、もしもの時の救急医療の訓練もされているようで、大変心強い思いです。また、医療だけでなく、在宅介護や子育て支援も担っていることを知り、改めて医師会の活動の幅広さを認識しました。
今号の取材に対し、ご協力いただいた方々に深くお礼申し上げます。
〈齋藤編集委員〉

発行 わがまち大田新井宿地区推進委員会 編集 「わがまち新井宿」編集委員会

山王三・四丁目自治会	編集委員長	高橋 紗英子
山王三丁目町会	副編集委員長	延島 武男
山王三丁目東自治会	編集委員	荒木 秀樹
中央一丁目町会	編集委員	齋藤 啓子
中央四丁目町会	編集委員	立石 住枝
新井宿五丁目町会	編集委員	谷口 敏子
新井宿六丁目町会	編集委員	河原 神風代
旧新井宿七丁目町会	編集委員	石田 小夜子

.....共同編集.....
監修 新井宿地区自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央4-31-14
☎ 3776-5391



「みんなともだち」
入二小2年 えび名 やすあきさんの作品

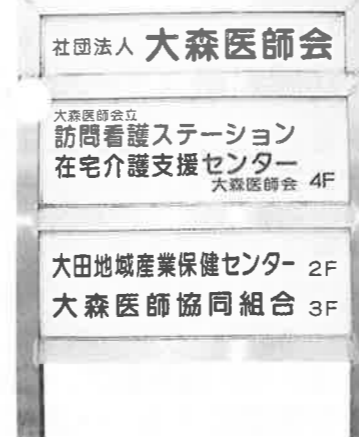
ご存知ですか 大森医師会

「名前は知っているが何をしている所がよく分からない」、「大森医師会館の中にあって確か休日診療をしている所では」この程度の答えが多いのではと思います。
あなたはいかがでしょう。

大森医師会発行のパンフレットには、こんな言葉が記されています。
——「大森医師会は、区民の皆様の健康を守るため、常に気軽にご利用できるよう日々努力をしています」と。

今号は、「何をしている所がよく分かっていない」編集委員一同が、1月某日、大森医師会を訪ねて取材をして参りました。

大森医師会は、大森・入新井・山王・新井宿・馬込・池上地区にある医療機関の医師で構成されている社団法人で、会員数は約300名。地域のおじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、そして子どもたちみんなの元気をサポートするために活動していて、病気や介護など何でも相談できる窓口とのことです。



大森赤十字病院の隣、『大森医師会館』と大きく書かれた建物の中に、写真でご覧のように大森医師会と併せて「訪問看護ステーション」、「在宅介護支援センター」があります。大森医師会はこれらの役割を持っていて、わたくしたちの健康を守ってくれている大切な所だということが分かりました。

ここでは、わたくしたちの身近に在って、どんな病気でも気軽に相談できる「かかりつけ医」の紹介にも力を入れています。また、「かかりつけ医」だけでは対応できない急病や重い病気の方には、病院と連携する体制も充実しているとのことです。

この他、緊急時における医師の活動組織の主導など、今回の取材によって編集委員一同、大森医師会を再発見しました。

二・三面で、地域の皆様にできるだけ多くの内容をお知らせいたします。

<p>《大森医師会》 住所：〒143-0024 大田区中央4丁目30番13号 電話：3772-2402 FAX：3777-7622 事務受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時</p>	<p>《訪問看護ステーション》 電話：3772-2406 FAX：3772-2474 受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 《在宅介護支援センター》 電話：3772-2415 FAX：3772-2472 受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後7時 土曜日 午前9時～午後1時</p>
--	--

1. 健康診断

人が元気で、自立して生活できるように、日頃から生活習慣病、がんの予防、早期発見にこころ配りをしなくてはなりません。そのためにも健診は積極的に受けたいものです。大森医師会は、大田区からの委託で、近くのかかりつけ医で健診を受けるように、対象年齢の人に、お知らせをしています。



2. 休日診療・小児準夜診療

医師会の診療所に来られる方は、風邪や喘息が中心の小児患者が大半ですが、より高度の治療が必要な場合は、近隣の病院への対応ができます。必ず、健康保険証をお持ち下さい。



電話：3772-2402
時間：日曜日・祝日・年末年始 午前9時～午後10時
土曜日 午後5時～午後10時
場所：大森医師会診療所（医師会館4階）



3. 学校医

地域の幼稚園・保育園・小・中学校の健康診断、就学时・プール・修学旅行前の検診に、内科、眼科、耳鼻咽喉科の医師を大森医師会から派遣しています。感染症の流行時には、学級閉鎖の措置をとります。



乳幼児の予防接種は、BCG・ポリオをのぞき、かかりつけ医による個別接種になりました。予診票をみて、接種もれのないように注意しましょう。
虐待防止のネットワーク作りに、医師の立場から参加を考えています。

——地域の医療をトータルにめぐばり——

大森医師会の仕事

4. 災害救急

不測の災害に備えて、救急医療の普及のために活動しています。9月1日の防災の日、羽田空港における航空機事故訓練など、医師の側から訓練に参加して、不測の事態に適切に対応できるように努めています。

また、大森医師会館には、AEDが設置されていて、講習の申し込みも随時受け付けています。

5. 在宅介護支援センター

大田区からの委託事業として、大森医師会が母体となって運営しています。

新井宿地区（山王3～4丁目、中央1～4丁目）にお住まいで、援助が必要な高齢者とその介護にあたる家族の相談窓口として、情報の提供をはじめ、介護の悩み相談、介護保険の要介護認定の相談、申請受付など専門の職員が丁寧に対応しています。住みなれた地域で、いきいきと生活を続けられるように諸々の支援を行っています。介護で心配なことがありましたら、気軽にお電話で相談されて、お悩みの解決の糸口にしてはいかがでしょうか。

* 在宅支援センターは平成18年4月から、大田区地域包括支援センター大森と名称が変更となります。



6. 訪問看護ステーション

社団法人大森医師会立の訪問看護ステーションとして、平成8年7月1日に設立されました。今年で10周年を迎えます。

医療機関、支援センターなどを通して、訪問看護の依頼のあった家庭を訪問して、病状の観察、医師の指示による医療処置、床擦れ予防やリハビリ、介護方法の指導及び、介護者への援助を行っています。現在は、訪問看護師6名で大森医師会の管轄地域を自転車であらり、利用者の希望日程にそって訪問看護を実施しています。

訪問先では、時間の制約にしばられながらも「一会一笑」をモットーに、高齢者の方々には人生経験豊かな先輩として敬意を表して接するよう心がけ、介護に携わる家族の方々の心身のケアにも心をくばっています。

訪問先では、心のこもった看護の対応に感謝のことが聞かれます。



7. 伝染病（感染症）対策

大田区は、空港・湾岸に接し、恐ろしい病原体（新型インフルエンザ、西ナイル熱など）の侵入可能区域です。大森医師会では、その予防体制を整え、情報提供に努めています。

もし、高熱の症状があったり、思いあたる事があった場合、人との接触による感染拡大を防ぐために、「すぐ受診」に行くのではなく「まず電話で相談」するようにしてください。

8. 大田地域産業保険センター

全国では現在、従業員50人未満の小規模事業所が、97%をしめています。大田区も例外ではありません。大森医師会は、大田地域産業保険センターを設置して、労働衛生管理の充実を計り、その家族を含めて保健サービスの相談を受けています。

過重労働、人間関係の悩み、現状に対する不安から、うつ病などメンタルなストレスを感じる人が多く、その対策として、メンタルヘルスのセミナーを無料で開催し、又、個別の相談にもなっていますので、大森医師会に予約してください。

9. キッズメデカルステーション（病後児保育室）



病後児保育室とは、病気や怪我の回復期ではあるが、まだ保育園等に通えない児童を預かる施設で、現在、大田区に4ヶ所あります。

大森医師会管内にあるキッズメデカルステーションは、大田区の委託事業として、平成16年8月に開設しました。

利用条件：大田区在住の生後4ヶ月から小学校就学前の児童で、保護者が勤務等の都合により家庭で育児を行うことが困難な場合

利用定員：1日あたり4名
利用期間：原則として7日以内
保育時間：午前8時半～午後5時半
利用料金：1人につき基本料金1日2,500円
所在地：大田区中央7-15-14
電話：03-3755-8827



見学記

施設は、診療所に併設されていました。保育室は、診察室のすぐ隣りにあり、清潔で暖かい雰囲気でした。医師がすぐそばにいてくれることは、預ける親にとって何よりも安心でしょう。子どもの病気や怪我のときに、親が長期に仕事を休むことは難しく、大変苦しいですから、この施設は本当にありがたいと思います。
今後、有力な子育て支援策として、注目されることでしょう。